



第11回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

下関・長門地域版

R7.11.17 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

【下関・長門地域の高校生議員の皆さん】

(大津緑洋高等学校(大津校舎))
泉 香帆さん 美濃穂乃花さん
白木沙和さん
(大津緑洋高等学校(日置校舎))
池田美佳さん 河野琴乃さん
(下関総合支援学校)
倉橋夢月君 岡村徠雅君
(梅光学院高等学校)
安藤菜々子さん 苛原右京君

議長開会宣言

開会宣言する
柳居議長

高校生議員の自己紹介

高校生議員からの質問及び執行部答弁

山口県の空き家率は全国平均を大きく上回り、防災・治安・地域活性化に課題が生じています。

こうした課題を踏まえ、若者移住促進住宅や地域コミュニティ拠点としての活用、観光・民泊利用、企業誘致との連携を提案します。

県として、空き家活用を通じて安全で活気ある地域づくりを進めるために、どのような具体的支援策を考えておられるのでしょうか。

質問をする
苛原議員

県では、空き家対策の実施主体である市町と連携しながら、空き家の利活用等の取組を進めているところです。具体的には、移住・定住を希望される方の住まいや、誘致企業の社宅探しにも役立つように、市町の空き家バンクや空き家に関する助成制度の情報を集約して、県のホームページでわかりやすく発信するとともに、県外3カ所の移住相談窓口などでも紹介しています。

また、空き家をカフェや店舗、民泊などの観光や交流の拠点等として利活用した事例集や動画を作成し、集客施設のデジタルサイネージなどの様々な広報媒体に加え、空き家セミナーや相談会の開催を通じて、良好な空き家の活用事例が県全域に広がるように周知を図っています。

さらに、空き家を、地域づくりのための貴重な資源として上手に活用し、市町や地域団体が交流拠点に改修したり、民間団体が「こども食堂」を開設したりする場合などには、その経費を補助し、財政的な支援も行っています。

空き家を活用して安全で活気ある地域づくりを進めるという苛原議員のいずれの御提案も、地域の実情に応じて取り組むことにより、実現可能となる優れた提案と考えています。

引き続き、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、市町や関係団体等と連携して空き家対策に取り組んでまいります。

答弁する
村岡知事

苛原議員(梅光学院高)と美濃議員(大津緑洋高)が、
下関・長門地域を代表して質問をしました！

国際理解の基盤を築くためには、外国語活動が始まる小学校での取組の充実が大切です。また、全ての児童に、外国の方や国際的に活躍している方との交流機会を担保する必要があります。

小学校での国際理解教育カリキュラムや実践事例の全県共有、地域・学校間教育格差縮減のためICTの活用に向けたサポート体制強化を提案します。山口県の小学校における具体的な国際理解教育の年間を通じたカリキュラムの例や、今後の展望はどのようになっていますか。



質問をする
美濃議員

繁吉教育長の答弁

県教委では、小学校段階から、児童が様々な国や地域の文化を理解し、外国の方々とコミュニケーションをとる楽しさを実感できるような授業づくりを推進しているところです。

また、ALTや地域の方々の協力のもと、外国語を使ったコミュニケーションを体験したり、異文化への理解を深めたりする活動等が、全ての小学校で行われています。

小学校における国際理解教育のカリキュラムの例については、児童が、外国の子どもや大人と、対面あるいはオンラインによって交流する活動や、互いの伝統文化を体験する活動、観光に訪れた外国人に地域の魅力を伝える活動などがあり、これらの活動は外国語や総合的な学習の時間の授業を中心として、計画的に行われているところです。

また、今後の展望や計画については、各学校において、ビデオ通話等のリアルタイムでの交流に加え、チャット機能等を活用した日常的な交流を行うことができるよう、ICTの活用に関する教員研修を充実させ、地域や学校間の格差なく国際交流が行えるようにしていきたいと考えています。

さらに、より多くの児童が、国際交流の経験ができるように、今回、美濃議員からいただきました御提案を踏まえ、各学校で行われている国際理解教育に関する実践事例を県全体で共有する取組を進めていきます。

県教委としましては、子どもたちが、グローバルな視点で社会に参画する人に成長できるよう、国際理解教育の一層の充実を図ってまいります。

第11回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「高校生の通学にかかる費用の軽減を求める意見書」

教育の機会均等を実現するため、山口県内すべての地域で、地域の実態に応じた通学支援を導入することを求める意見書を高校生議員全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:周防大島高等学校 木村 杏奈さん)



提案理由を説明
する木村議員



全員で採決

決意表明

高校生議員を代表して、
「ここでの学びと経験を胸に、
これからも地域や社会の課題に
向き合い行動し続ける。」
「希望と責任を持って前に
進み続ける」と決意表明しました。



決意表明する
吉野議員

(決意表明者:宇部西高等学校 吉野 煌基君)

記念撮影

